

<一般委託>

「くらしの安全・安心カレンダー2020」作成業務委託(一般委託)仕様書

「くらしの安全・安心カレンダー2020」作成業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	危機全般に対する、市民の危機意識、対応力の向上
2	履行期間	契約日から令和元年11月22日(金)まで
3	施行場所	横須賀市役所及び受託者の所在地
4	業務内容	別紙1を参照 (1)カレンダーの編集(デザイン、レイアウトなど) (2)カレンダーの印刷(冊子20,000部)
5	特記事項	
6	関係法規	
7	資格要件	
8	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
9	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
10	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	監督員 連絡先	市長室危機管理課 危機対策推進係 瀬戸口 046-822-8410

<指示又は希望事項>

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。 (上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いいたします。</p>
----------------------------------	---

くらしの安全・安心カレンダー作成業務委託仕様書

1. 目的

安全で安心して暮らすために市民が知っておくべき事項について、年間を通して目にとまるカレンダーに掲載し、配布することで危機全般に対する市民の危機意識、対応力の向上について啓発することを目的とします。

2. 編集方針

詳細は、横須賀市（以下「甲」という）及び受託者（以下「乙」という）による編集打ち合わせにおいて協議・決定しますが、概ね以下の方針に基づいて作成するものとします。

- ・イラスト等を使用し、わかりやすさに配慮したデザインであること
- ・2か月ごとの時季にふさわしい情報を提供したカレンダーとすること
- ・記事部分に記載する文章については甲で作成し、乙は文章及びイラストの割付け、カレンダー部分の作成を行うこと

3. 規格及び構成

カレンダーは、次の規格・構成とします。なお、作成イメージについては別紙2を参照してください。

- (1) 印刷部数 20,000部
- (2) B4 16頁（表紙、裏表紙含む）カラー刷り
- (3) 製本 中とじ（上下に見開いた状態でB3判の大きさ）
- (4) 用紙 コート紙四六判 135kg相当（カラー刷り オフセット両面印刷）
- (5) 見開いた状態で上部に吊り下げ用穴（6ミリ径）1箇所
- (6) カレンダーの構成

〔表紙〕

表紙部分は、乙が安全・安心をイメージするイラストを作成し、タイトルは「くらしの安全・安心カレンダー」及び「2020年 横須賀市」という文字を装飾し配置します。

なお、ベースの色については、乙が3点見本を作成し、甲が選択するものとします。

〔トピックス部分〕（見開き上部分）

2か月ごとのカレンダーの見開き上部分を使用し、防災・安全安心情報を提供します。文章は甲が作成し、乙は文章にあったイラストの作成、見出しの装飾、文章・イラストのレイアウトを行います。

なお、現在トピックス部分に予定している内容は次のとおりです。

- ① 振り込め詐欺
- ② 防災情報の入手手段
- ③ 大雨被害・土砂災害
- ④ 熱中症予防
- ⑤ 避難について
- ⑥ 自助、共助

〔カレンダー部分〕（見開き下部分）

2か月ごとのカレンダーの見開き下部分を使用し、カレンダー表示をします。
また、カレンダー下部には、本市が別途募集する広告（縦50mm×横344mm）を掲載します。なお、広告部分の入稿は10月中旬頃の予定です。

公告枠の配置や広告主からの入稿形態は、**別紙3**の「参考 広告掲載仕様書」を参照してください。

〔資料ページ部分（最終見開き上下）・裏表紙〕

資料ページ部分及び裏表紙部分は、安心メモや緊急連絡先、防災情報、作成者の奥付等を掲載するものとします。

内容は甲が作成し、乙は文章にあったイラストの作成し、見出しの装飾、文章・イラストのレイアウトを行います。

4. スケジュール

(1) 編集打ち合わせ（甲、乙）

- ・契約後10日以内に、編集方針や完成イメージ、スケジュール等に関する第1回目の打ち合わせを実施し、以降は必要に応じて（3）の編集作業に関する打合せを実施します。

(2) 工程管理（乙）

- ・第1回目の編集打ち合わせ時に全体スケジュール案を提出してください。
- ・編集打ち合わせの結果を踏まえスケジュールを更新し、以降の工程の管理を行ってください。

(3) 入稿（甲）

- ・トピックス部分、資料ページ部分、裏表紙に記載する文章等について、9月下旬を目途に入稿します（広告部分を除く）。
- ・文章は、原則Microsoft社ワードデータにて提供します。

(4) 編集作業（乙）

- ・紙面デザイン、レイアウト、ページ割付、文字デザインの作成等の編集作業（イラストや図表の作成、写真トリミングなど含む）を行ってください。
- ・紙面に使用する写真・イラストは各ページ2点以上5点以下とし、イラストについては、主に防犯・防災・危機管理等に関するもので、本文中の内容に沿ったものを乙が作成するものとします。
- ・既存のイラスト・写真等のフリーデータを使用することは認めません。ただし、カレンダー部分についてはフリーデータの使用を可とします。
なお、当該データを使用したことに伴って発生する著作権等に関する損害賠償など全ての責任は、乙が負うものとします。
- ・カレンダーの月日・曜日・祝日等の表記については、校了日時点の情報によって乙の責任において作成してください。また、各月に「西暦」を併記してください（例. 2020年〇月）
ただし、暦注の記載はしないでください。

(5) 校正作業（甲、乙）

- ・校正は色校正を含み4回とし、校正紙は1回につき7セット用意してください。
- ・校正紙を提出する前は、必ず乙において校正を行ってください。

(6) 版下作成・製版・印刷（乙）

(7) 納品（乙）

- ・納入期限 令和元年11月22日（金）
- ・納入場所 横須賀市市長室危機管理課

5. 特記事項

- ・作業にあたって疑義事項が生じた場合は、甲と乙で協議の上決定するものとします。
- ・甲は、納品されたカレンダーを市民や関係機関へ配布、イベント会場での配布をするほか、複製、展示（ホームページへの掲載含む）をすることができます。その他の使用形態については、甲と乙で協議の上、決定するものとします。

「くらしの安全・安心カレンダー」2020 版イメージ

名 称	くらしの安全・安心カレンダー2020	
規 格	サイズ	B4判
	色	カラー印刷
発行時期	令和元年12月1日	
発行部数	20,000部	
発行元	市長室危機管理課	
その他 (写真・イメージ)	<p>構成は以下となります。</p> <p>01ページ：表紙</p> <p>02～13ページ：トピックス部分、カレンダー部分、広告部分</p> <p>14～15ページ：資料ページ</p> <p>16ページ：裏表紙</p>	
	<p>01ページ（表紙 B4横サイズ）</p>  <p>見開いた状態で吊り下げられるように、「吊り下げ用穴（6ミリ径）」を開けてください。</p>	

02～13ページ（トピックス部分、カレンダー部分、広告部分）

カレンダーを上下に開いた状態（B3縦サイズ）。

上段がトピックス部分、下段がカレンダー部分になります。
下段のカレンダー部分には、西暦を記載して下さい。
また、カレンダー下部のスペースに、広告を掲載します。

広告欄外に次の文章が入ります。

「以下は広告スペースです。広告に関する質問等は、広告スポンサーにお問い合わせください。」

トピックス部分

カレンダー部分
西暦を記載してください。
20XX年〇月

広告部分
赤枠（50×344mm）の
箇所が広告掲載範囲
です。

津波から命を守るには、一人ひとりが迅速・適切に避難することが何よりも大切です。

津波からの避難行動を身につけましょう。

津波の発生を察知する

- 1 地震
震度4以上の揺れ、ゆっくりとした揺れが長く続く
- 2 海面の高さ
海水が引いていく
- 3 津波警報
テレビ、ラジオ、インターネット、防災行政無線、防災情報メール

適切に避難する

- 1 いち早く高い所に避難する
高台、鉄筋コンクリートの建物の上階
- 2 基本的には徒歩で避難する
車での避難は決断に巻き込まれる恐れ
- 3 川には流を向けて避難する
川の氾濫では、津波が定かでない

普段から自分の生活する地域の標高を確認しましょう。

迅速・適切に避難するためには、地域の標高を確認し、避難先を複数想定しておくことが重要です。

標高表示
市の公共施設や公園、町内会館などに標高表示を掲示しています。

よこすかがわが街ガイド(地図検索)の標高マップ
横須賀市のホームページ「よこすかがわが街ガイド(地図検索)」で、任意の地点をクリックすると、その地点周辺の標高が表示されます。

よこすかがわが街ガイド 検索

- 1 「よこすかがわが街ガイド」を検索
- 2 よこすかがわが街ガイドの「防災」情報欄「標高マップ」へ

3月 2013 March							4月 2013 April							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2		1	2	3	4	5	6	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					
31														

情報収集の方法 ② 防災行政無線・防災情報メール

大規模水害など災害に関する情報は、防災行政無線・防災情報メールでお知らせしています。防災情報メールの登録方法は資料ページをご覧ください。
※警報等の発令に関する情報は22時～翌6時まで、お知らせしていません。

「ラジオは災害時や停電時でも使用できる有力な情報源」です。

14～15ページ（資料ページ部分）


最終の見開きページを開いた状態（B3縦サイズ）となります。

資料ページ 1

①非常用持ち出し品

○避難した時の最初の1日程度に必要な物品を備えましょう。
○備え入れや搬送の準備に合わせて、持ち運べる分量（10～15kgが目安）を準備しましょう。


- 貴重品（現金、通帳など）
- 防寒着、着替え
- 携帯トイレ（1人1日分程度）
- 洗面（上着、下着、履物、タオルなど）
- 懐中電灯、ラジオ、乾電池
- 医薬品（絆創膏、外用剤、消毒液、マスク、消毒ガゼ、三角巾、包帯、消毒液など）
- 炊具用品（ライター、ろうそく、ビニール鍋、箸など）
- 凍結の恐れにあわけて必要なもの（保冷剤、乾氷、生物用品など）



②非常用備蓄品


○自宅などで避難生活を送る時に必要な物品を備えましょう。
○最低3日分を目安に備蓄しましょう。
○避難所で生活を送る場合は、家庭から非常用備蓄品を持ち出しましょう。

- 非常食品（レトルト食品、栄養補助食品など）
- 飲料水（缶詰など）
- 洗面用品（折り畳みトイレ）
- 携帯トイレ（1人1日分程度）
- 凍上コンロ・カセットボンベ
- 凍結の恐れにあわけて必要なもの（乾氷、三角巾、生物用品など）



ポイント！ 無駄なく非常用品を備蓄する「ローリングストック法」

この方法は、特別な非常用品を準備する必要はありません。日常消費する食品などを非常用として少し多く購入しておき、これを定期的に消費し、消費した分を買い足すようにします。これによって、特別な非常用品を購入する必要がなくなり、期限切れの廃棄も少なくなります。



資料ページ 2

防災情報メールサービス

被災者支援では、大勢の被災者への防災情報発信、防災行政連絡が求められています。この防災行政連絡の円滑な実施、関係機関やボランティアとの連携が重要です。

登録方法

- ① QRコードを読み取り、登録画面へアクセスしてください。
- ② 個人情報を登録し、登録完了後、登録完了メールが届きます。
- ③ 登録完了後、登録完了メールが届きます。

※ 登録画面へのアクセスは、被災者支援センター（045-822-8357）へお問い合わせください。

災害用伝言ダイヤル(171)

大規模な自然災害が発生したとき、多くの人が被災者や個人などに一斉に電話が掛かると、電話がつながりにくくなります。このように時に発生する「災害用伝言ダイヤル(171)」で、被災者の安全確認や緊急連絡の依頼など、利用してください。

① 伝言の発信方法

171にダイヤルすると、ガイダンスが流れます。

録音の電話 ①

045-822-8357

② 伝言の受信方法

045-822-8357にダイヤルすると、ガイダンスが流れます。

被災者の個人電話番号をダイヤルすると、045-822-8357にダイヤルすると、ガイダンスが流れます。

※ 171は、災害発生時のみ利用可能なサービスです。利用の際は、必ず事前に登録をお願いします。

よこそが防災おんしんメール

被災者支援では、大勢の被災者への防災情報発信、防災行政連絡が求められています。この防災行政連絡の円滑な実施、関係機関やボランティアとの連携が重要です。

登録方法

- ① QRコードを読み取り、登録画面へアクセスしてください。
- ② 個人情報を登録し、登録完了後、登録完了メールが届きます。
- ③ 登録完了後、登録完了メールが届きます。

※ 登録画面へのアクセスは、被災者支援センター（045-822-8357）へお問い合わせください。

ラジオやテレビからの情報入手

被災者支援センター（045-822-8357）は、大規模な自然災害が発生したとき、多くの人が被災者や個人などに一斉に電話が掛かると、電話がつながりにくくなります。このように時に発生する「災害用伝言ダイヤル(171)」で、被災者の安全確認や緊急連絡の依頼など、利用してください。

ラジオやテレビからの情報入手

被災者支援センター（045-822-8357）は、大規模な自然災害が発生したとき、多くの人が被災者や個人などに一斉に電話が掛かると、電話がつながりにくくなります。このように時に発生する「災害用伝言ダイヤル(171)」で、被災者の安全確認や緊急連絡の依頼など、利用してください。

お問い合わせ先：045-822-8357

16ページ（裏表紙 B4横サイズ）

資料ページ 2

防災情報メールサービス

被災者支援では、大勢の被災者への防災情報発信、防災行政連絡が求められています。この防災行政連絡の円滑な実施、関係機関やボランティアとの連携が重要です。

登録方法

- ① QRコードを読み取り、登録画面へアクセスしてください。
- ② 個人情報を登録し、登録完了後、登録完了メールが届きます。
- ③ 登録完了後、登録完了メールが届きます。

※ 登録画面へのアクセスは、被災者支援センター（045-822-8357）へお問い合わせください。

災害用伝言ダイヤル(171)

大規模な自然災害が発生したとき、多くの人が被災者や個人などに一斉に電話が掛かると、電話がつながりにくくなります。このように時に発生する「災害用伝言ダイヤル(171)」で、被災者の安全確認や緊急連絡の依頼など、利用してください。

① 伝言の発信方法

171にダイヤルすると、ガイダンスが流れます。

録音の電話 ①

045-822-8357

② 伝言の受信方法

045-822-8357にダイヤルすると、ガイダンスが流れます。

被災者の個人電話番号をダイヤルすると、045-822-8357にダイヤルすると、ガイダンスが流れます。

※ 171は、災害発生時のみ利用可能なサービスです。利用の際は、必ず事前に登録をお願いします。

よこそが防災おんしんメール

被災者支援では、大勢の被災者への防災情報発信、防災行政連絡が求められています。この防災行政連絡の円滑な実施、関係機関やボランティアとの連携が重要です。

登録方法

- ① QRコードを読み取り、登録画面へアクセスしてください。
- ② 個人情報を登録し、登録完了後、登録完了メールが届きます。
- ③ 登録完了後、登録完了メールが届きます。

※ 登録画面へのアクセスは、被災者支援センター（045-822-8357）へお問い合わせください。

ラジオやテレビからの情報入手

被災者支援センター（045-822-8357）は、大規模な自然災害が発生したとき、多くの人が被災者や個人などに一斉に電話が掛かると、電話がつながりにくくなります。このように時に発生する「災害用伝言ダイヤル(171)」で、被災者の安全確認や緊急連絡の依頼など、利用してください。

ラジオやテレビからの情報入手

被災者支援センター（045-822-8357）は、大規模な自然災害が発生したとき、多くの人が被災者や個人などに一斉に電話が掛かると、電話がつながりにくくなります。このように時に発生する「災害用伝言ダイヤル(171)」で、被災者の安全確認や緊急連絡の依頼など、利用してください。

お問い合わせ先：045-822-8357

以上

(参考)「くらしの安全・安心カレンダー」広告掲載仕様書

1. 印刷物の部数、規格など

発行部数	20,000部
印刷物規格	B4判サイズ、カラー印刷、16ページ
配布開始	令和元年12月1日
配布対象	横須賀市内在住・在勤の方 防災・防犯に関する事業所など
配布方法	無償配布 ・市内各行政センターを通じて市民配布(19,000部) ・市長室から防災・防犯に関する関係機関配布(500部) ・予備、追加配布等(500部)

2. 広告掲載位置、規格など

掲載位置	広告掲載可能ページ内のカレンダー下部(下図を参照)
掲載面	6ページ
規格	サイズ:縦50mm×横344mm以内 刷色:カラー

3. その他

- (1) 原稿はデータで提出すること。(使用アプリケーション Illustrator)
- (2) 1ページ内で、広告枠を1枠から最大6枠まで変更可能。
(枠の区切り方やページ展開等で枠数の変更可能)
- (3) 広告の欄外に次の文章が入ります。
「以下は広告スペースです。広告に関する質問等は、広告スポンサーにお問い合わせください。」

4. 参考画像

カレンダー表紙 (参考:2015年版)	カレンダーを上下に開いた状態
	 <p>赤枠の箇所(50×344mm)が 広告掲載可能範囲</p> <p>枠の区切りやページ展開等 で枠数の変更可能</p>